

金融市場NOW

アフリカ各地で普及する “デジタル医療”

医師不足や良質な医療へのニーズから市場の拡大が期待される

- ▶ アフリカで“リープ・フロッグ”が情報技術のみならず医療などの分野でも見られている。
- ▶ 携帯電話を使用した遠隔診療が普及。来院者数を大幅に削減するなど、医療の効率化が進む。
- ▶ 医療環境の整備が急務であるアフリカにおいて、デジタル医療市場のさらなる拡大が期待される。

さまざまな分野で見られるリープ・フロッグ

固定電話がほとんど普及していないアフリカにおいて、先進国を上回るスピードで携帯電話が急速に普及したことは、“リープ・フロッグ（蛙飛び）*”の一例としてあげられます（図表1）。アフリカは、先進国諸国に比べレガシー（既存インフラや既得権益者、規制など）が少なく、最先端技術を速く普及しやすい環境にあります。そのため、近年“リープ・フロッグ”は、情報技術のみならず医療や金融などのさまざまな分野でも見られています。

* 道路や電気などのインフラが未整備な地域で、既存の技術を経ることなくいきなり最新の技術が発展・普及すること。

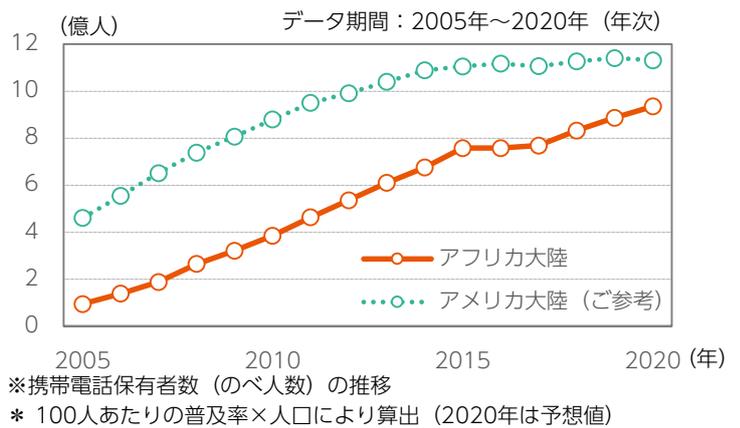
デジタル医療でアフリカの医療環境に変化

アフリカでは人口が急増しており、国連の推計では、2050年には現在の約13億人から倍増する見込みです。増加する人口に対し、医師が圧倒的に足りていません。例えばエチオピアでは1,000人当たりの医師数が0.1人を下回り、日本の約25分の1となっています（図表2）。数少ない病院には長蛇の列ができ、遠方から訪れてもその日中に診察を受けられないこともあるようです。携帯電話の普及とレガシーの少なさに着目した欧米のハイテク企業の参入により、医療環境が大きく変化しました。地域医療との連携により、チャットボックスを利用したAI（人工知能）によるカウンセリングや医師や看護師による遠隔診療、電子処方箋サービスなどが提供されています。ルワンダでサービスを提供する英国ベンチャーのサービス登録者数は2019年に200万人を超え、架電者の約75%がカウンセリングや遠隔診療で完結するなど医療の効率化につながりました。

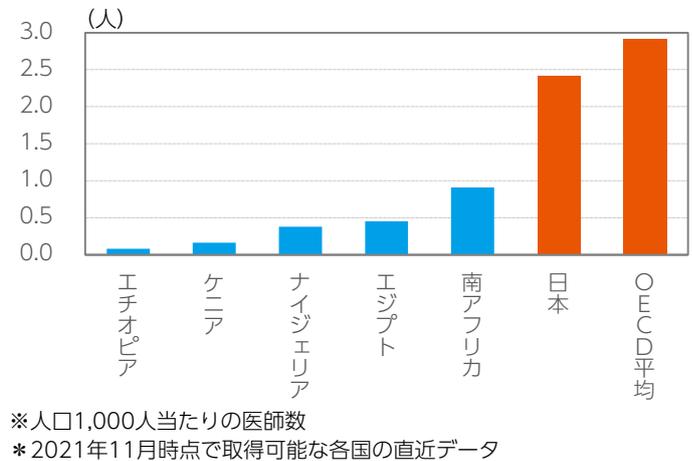
良質な医療ニーズから市場の拡大が期待される

近年、アフリカで医療サービスを提供するハイテク企業（医療テック企業）が、ベンチャーキャピタルや開発機関などから多額の資金を調達するケースもみられます。その額は年々増加傾向にあり、2020年にはエジプトなどの医療テック企業が合計でおよそ1.41億ドルを調達しました（図表3）。医師不足や良質な医療へのニーズの高まりなどからアフリカの医療環境の整備は急務であり、デジタル医療市場のさらなる拡大が期待されます。

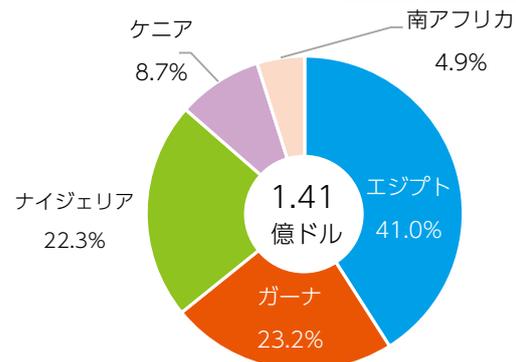
図表1：アフリカで携帯電話が急速に普及した



図表2：アフリカでは医師不足が深刻となっている



図表3：アフリカ各地の医療テック企業が資金調達



出所) 図表1はITU(国際電気通信連合)、図表2は世界銀行、図表3はPartechの資料をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>